

# **News Release**

平成26年4月22日

### 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

- 1. ガス機器・石油機器に関する事故 該当案件無し
- 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(うち自転車1件、空気清浄機1件、電子レンジ1件、鍋1件)
- 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 製品起因か否かが特定できていない事故 該当案件無し
- 4. 重大製品事故ではなかったと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※) において、審議を予定している案件 該当案件無し
  - 1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。
  - ※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

### 5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

### 6. 特記事項

# (1)株式会社オーム電機が輸入した空気清浄機について(管理番号A201400036)

# ①事故事象について

社員寮で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、電流ヒューズの定格容量が設計上、容量が大きすぎたため、当該製品の電源回路の電子部品が内部短絡した際に、電流ヒューズが作動せず過電流が流れ続け、異常発熱し、発火に至ったものと考えられます。

管理番号		事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
	A201400036	平成26年4月15日	AP-510H	火 災 軽傷2名	愛知県

### ②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品(下記③)について、事故の再発防止を図るため、2012年(平成24年)2月1日にウェブサイトへ情報掲載するとともに、ダイレクトメールの送付及び店頭告知を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償改修(電流ヒューズの交換)又は回収・返金を実施しています。

また、2013年(平成25年)5月から同社の主要製品内に改修告知チラシを入れるなど、引き続き注意喚起及び無償改修又は回収・返金を呼び掛けています。

## ③対象製品:機種・型式(品番)、対象ロット記号番号、対象販売期間、対象台数

機種・型式 (品番)	対象ロット記号番号	対象販売期間	対象台数
AP-510H(黒) (00-6622)	D71012、D71211、D80116、 D80215、D80227、D80401、 D80507	2007年11月 ~ 2010年 3月	26, 400台
AP-510A(青) (00-6623)	D71012	2007年11月 ~ 2009年 7月	3, 749台
	合 計		30, 149台

2012年(平成24年) 2月1日からリコールを実施 改修率 0.9%(平成26年3月31日現在)

#### くリコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400036)発生以前の、2010年度以降同社が輸入した空気清浄機におけるリコール対象の内容による事故(調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なもの及びリコール開始の契機となった事故を含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2013年度	0	火災	2011年度	0	火災
2012年度	2	火災	2010年度	1	火災

# <対象製品の外観及び確認方法>

### 1)対象製品の外観



AP-510H AP-510A

# 2) 対象製品の確認方法

本体底部の銘板内の型番(及び品番)及び製造ロット記号番号 をご確認ください。



# ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修又は回収・返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

### 【問合せ先】

株式会社オーム電機 空気浄化機リコール係 電 話 番 号:0120-963-006

> 048-992-2735 (携帯電話・PHS・一部のIP電話 の受付番号)

受付時間:9時~17時30分(土曜は17時まで。日曜・祝日を除く。) ウェブサイト:http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/AP-510/AP-510.html

# (2)株式会社千石が輸入し、岩谷産業株式会社が販売した電子レンジについて (管理番号A201400037)

#### ①事故事象について

株式会社千石が輸入し、岩谷産業株式会社が販売した電子レンジを使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、ドアの開閉を検知するスイッチの製造不 良により、接点部でスパークが発生し、火災に至ったものと考えられます。

管理番号 事故発生日		機種・型式	被害状況	事故発生都道府県	
A201400037	平成26年4月3日	IM-574	火災	山口県	

### ②再発防止策について

販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象製品(下記③)について、事故の再発防止を図るため、2003年(平成15年)9月2日にウェブサイトに情報を掲載するとともに、これまで複数回の新聞社告、テレビCM放映により使用者に対して注意喚起を行い、対象製品について無償改修(スイッチ部の交換)を実施しています。

また、2013年(平成25年)は、4月にテレビCM放映を行い、今後も更なる注意喚起及び無償改修の促進に向けて取組を強化することにしています。

### ③対象製品等:機種・型式、製造番号、対象製造期間、対象台数

機種・型式	製造番号	対象製造期間	対象台数	
IM-574	70301~90220	1~90220 1997年~1999年		
IM-574S	80110~90117	1998年~1999年	6,017台	
IM-575	80903~01015	1998年~2000年	48, 224台	
IM-575S	IM-575S 90207~00325		2,820台	
	87, 651台			

2003年(平成15年) 9月2日からリコールを実施 改修率:13.6%(2014年3月31日現在)

# <リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400037)発生以前の、2010年度以降同社の電子レンジにおけるリコール対象の内容による事故(調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2013年度	4	火災	2011年度	3	火災
2012年度	3	火災	2010年度	9	火災

# <対象製品の外観及び確認方法>



# ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

# 【問合せ先】

岩谷産業株式会社

電 話 番 号:0120-00-9930

受付時間:9時~17時(土・日・祝日を除く。)

ウェブサイト: http://www.iwatani.co.jp/jpn/top\_info/detail.php?idx=8

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担 当:大木、長井、清重

電 話:03-3507-9204(直通)

FAX: 03-3507-9290

(株式会社オーム電機が輸入した空気清浄機についての発表資料に 関する問合せ先)

(株式会社千石が輸入し、岩谷産業株式会社が販売した電子レンジについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当:水野、角田、中谷 電 話:03-3501-1707(直通)

FAX: 03-3501-2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

- 1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む) 該当案件なし
- 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種·型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400035	平成26年1月28日	平成26年4月17日	自転車	CS3400	株式会社 ジャイアント (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で走行中、当該製品のフレームが 破断し、転倒、負傷した。現在、原因を調査 中。		事業者が事故 を認識したの は4月16日
A201400036	平成26年4月15日	平成26年4月17日	空気清浄機	AP-510H	株式会社才一ム電機 (輸入事業者)	火災 軽傷2名	社員寮で当該製品を使用中、当該製品及び 周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、電流 ヒューズの定格容量が設計上、容量が大きす ぎたため、当該製品の電源回路の電子部品 が内部短絡した際に、電流ヒューズが作動せ ず過電流が流れ続け、異常発熱し、発火に 至ったたものと考えられる。		平成24年2月1 日からリコール を実施(特記事 項を参照) 改修率 0.9%
A201400037	平成26年4月3日	平成26年4月17日		IM-574(岩谷産 業株式会社ブラ ンド)	株式会社千石(岩谷 産業株式会社ブラン ド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火 災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、ドア の開閉を検知するスイッチの製造不良によ り、接点部でスパークが発生し、火災に至った ものと考えられる。		平成15年9月2 日からリコール を実施(特記事 項を参照) 改修率 13.6%
A201400038	平成26年3月12日	平成26年4月18日	1条件	CW076又は CW0076-7	ブランド・ロイヤル ティ・ジャパン株式会 社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で調理中、取っ手の部品が破損し、 破裂音がして、耳を負傷した。現在、原因を調 査中。	兵庫県	事業者が事故 を認識したの は4月17日

- 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故該当案件無し
- 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件該当案件無し

自転車(管理番号: A201400035)



鍋(管理番号: A201400038)

